

区役所で阿波おどり、見物客を魅了

いよいよ明日から、第60回「東京高円寺阿波おどり」(主催：NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会)が開催されます。26日、杉並区役所玄関前では、「葵新連」のメンバーが、明日からの開幕をPRするために登場。軽快なお囃子と息の合った踊りを披露し、多くの見物客を魅了しました。

高円寺阿波おどりは、昭和32年に商店街のイベント「高円寺ばか踊り」として始まりました。それから歴史を重ね、今回が第60回の記念の年となりました。例年の約1万人の踊り手が登場し、100万人の観衆でにぎわいますが、今年はそれ以上の盛り上がりが予想されています。



26日12時30分、杉並区役所玄関前に「葵新連(あおいしんれん)」のメンバー30名ほどが登場。葵新連は、昭和42年の結成で、高円寺阿波おどりをここまでけん引してきた連の一つです。区役所前には、200人ほどの観客が、葵新連のパフォーマンスを見ようと集まる中、踊り手が息の合った踊りを披露。軽快な鳴り物とともに、ひと足早いお祭りの雰囲気をお届けしました。このパフォーマンスは、明日から始まる阿波おどりをPRするためのもので、およそ15分の演技が終わると、会場は大きな拍手と歓声に包まれました。



《第60回東京高円寺阿波おどり》

【日程】8月27日(土)・28日(日) 午後5時～午後8時

【会場】JR「高円寺駅」南北の商店街と高南通りを中心とした総延長約2kmのコースに8つの演舞場が設けられます。

【問い合わせ先】

総務部広報課 TEL：03-3312-2111